

創立72周年

令和4年度 10月号



咲かせよう大正の花

つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



全力を出す

園長 北村 恵

先日、3年ぶりに祖父母の方をお呼びしての祖父母参観を行うことができました。私も初めてお会いする方が多く、年長児にとっても初めての体験だったので、実施でき本当に良かったです。ニコニコ笑顔でご自分のお孫さんだけでなく、他の子供たちとも一緒に遊んでくださり、集会での子供たちの発表にも沢山の拍手を送ってくださいました。お帰りの際には、「今日参加できて嬉しかったです」「また、運動会も楽しみにしています」など、お声かけくださり、幼稚園で過ごすお孫さんの姿を見ることが出来る日を、待ち望んでいらしたことをひしひしと感じました。

今、子供たちは、毎日運動会に向けて様々な活動に取り組んでいるところです。今年度は、「わいわいシーパラダイス」というテーマで、海にちなんだ世界を表現します。運動会に向けての取り組みの中では、単に体を動かすことだけでなく、年齢に応じて様々なことを体験します。当日に観ていただく姿だけでなく、その取り組みを通して子供たちは大きく成長していきます。

特に年長児は、幼稚園で一番大きな学年として、みんなのために作ること、グループの友達と相談して考えること、係活動など、たくさんの役割があります。その中で、自分なりに目あてをもって少し難しいことにチャレンジしたり、頑張ったことでできた喜びを味わったり、時には自分の思い通りにならない経験からくやしさを感じたり、気持ちの立て直し方を知ったりします。

体育指導にいらした講師の先生から、「年長さん、随分パワーが出せるようになりましたね」という言葉をかけていただきました。それを聞いて年長児の顔が次々と浮かびました。

リレーの練習で自分からアンカーを希望し、カーブを曲がり切れないほどのスピードで全速力で走っていた、いつもは人前に出ることが苦手なAさん。応援団長がやりたい！と希望してオーディションで大声を張り上げた、いつもは小さな声で話すBさん。キッズソーランをばんだ組に伝授するとき一生懸命踊っていた、昨年までは「恥ずかしい」と言って人前では踊らなかったCさん。できるまであきらめず、手にまめができるまで雲梯に挑戦したDさん。リレーで負けたことが悔しくて大泣きしたEさんは、チームの友達に励まされ泣きやんでもう一度走ることが出来ました。

やりたいからこそ、全力で頑張る経験を繰り返すことで、子供たちのパワーが高まっていると感じます。私たち大人も、子供たちの必死なその姿に心打たれ、勇気もらっています。そして、さらに一人一人が自信をもってのびのび動けるように援助していきたいと考えています。

まだ、ご来賓の皆様をたくさんはお呼びできないので、運動会でも祖父母の方に大勢おいでいただき、子供たちにたくさん声援と拍手をおくっていただきたいと願っています。